



循環型社会構築への 産・官・学・民の役割 (企業の立場から)

IBM環境シンポジウム(盛岡)

平成15年10月22日

太平洋セメント株式会社



1. 企業の環境配慮に対する 役割と責任

地球温暖化問題への責任

開発途上国のGHG抑制が将来課題

日本企業の先進的技術を移転・普及

不法投棄と排出者の責任

青森・岩手県境産廃 首都圏排出事業者

産業廃棄物減量化への取組み

最終処分場不足 3Rによる減量化



2. 企業が取組む拡大生産者責任

拡大生産者責任を踏まえて企業に求められていること：「製品の長寿命化」「再生資源の利用」「消費者への情報提供」

各種リサイクル法と産業構造審議会リサイクルガイドライン

日本経団連の環境自主行動計画

・廃棄物対策 ・温暖化対策

セメント製造業の取組み



3. 最適な仕組み作りのための 企業の役割

セメント産業の持続可能性を模索したグローバルな取組み

広域処理の経済性と規制の緩和

地域とのコミュニケーションの促進

地域経済活性化のための環境ビジネス



3.1 セメント産業のグローバルな活動

- ・世界のセメント総需要：17億t
- ・CO₂ガス：人為的排出量の約5%
- ・WBCSD(持続可能な発展のための世界経済人会議)の下にセメント産業部会
- ・CSI(セメント自主行動計画)
- ・国内セメントメーカーから唯一参画
- ・CO₂削減、廃棄物利用の安全性のガイド普及



3.2 広域処理の経済性と規制の緩和

- ・ 県外廃棄物の流入規制
事前協議制度、産廃税・課徴金
- ・ 循環型社会における廃棄物リサイクル業
静脈産業としてビジネスとして成り立つ
県を越えた広域処理の実現が不可欠
法規制や自治体の運用条件の緩和



3.3 地域とのコミュニケーションの促進

- ・循環型社会に貢献、廃棄物処理でなくリサイクル
NIMBY (Not in my back yard)
- ・地域への環境負荷を最小化すべく
環境と安全が担保できる技術開発
- ・環境リスクコミュニケーションを図るべく
情報開示のパンフレットやサイトレポート発行
工場見学会や説明会の開催頻度増やす



3.4 地域経済活性化のための 環境ビジネス

- ・日本経済の見通し、大型公共工事
- ・セメント需要の低下 生産構造見直し
- ・地域の雇用確保と工場生き残りを模索
- ・セメント産業 環境ビジネスに進出しやすい素地
- ・公共港湾施設 リサイクルポート化
- ・建設発生土や処理困難物 再資源化
- ・「規制の緩和」と「地域のご理解」は不可欠